

ARCH

SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

04

2024.06





県央地域の 医療ニーズに、 チームで挑む。

県央地域で外科手術ができる唯一の病院となった済生会新潟県央基幹病院。
日々多くの手術を担当されている外科チームの主任診療科長・二瓶先生にお話を伺いました。

済生会新潟県央基幹病院ならではの
外科の特徴を教えてください。

新潟県は2020年時点、全国46番目の外科医師少数県で、県内では外科機能の集約化が進められています。県央地域でも以前は4病院で外科手術が行われていましたが、県央基幹病院の開院に向けて外科が集約化され、現在、消化器がんや乳がんの手術ができる唯一の病院となりました。私が以前勤務していた燕労災病院では、昨年1年間で手術件数が766件。当院は今年4月時点で75件の手術が行われる予定で、年間で考えると900件という想像を超えたペースです。また、複数名の麻酔科医が常勤になったことで、夜間や休日の緊急手術も増える傾向にあります。

こうした背景や働き方改革を踏まえ、当院では臓器専門別による手術を行っています。臓器別で手術を行うと、どうしても手術の偏りや勤務時間の問題が出てくるからです。さらに緊急時の対応も考え、医師の専門分野で臓器別にチームを分けるのではなく、外科医8人全員で全ての疾患に対応できるように、手術の振り分けをはじめ週に複数回の術前検討会を行っています。また、手術だけでなく抗がん剤治療の検討会も全員で行い、治療方針を決定するなど、当科は「8人の医師が一つのチームとして全ての患者さんを診る」というのが特徴です。

医療に携わる上で大切なことは
何だとお考えですか。

患者さんやご家族とのコミュニケーションが大切というのは、言うまでもありません。医師が威圧感を与えたり、自分の意見を押し付けるというのは論外で、患者さんやご家族の意思をしっかりと汲み取ることが大事です。

もう一つは私生活、家庭を大切にすることです。外科医は直接患者さんに対して侵襲を加え、治療を行います。手術では冷静沈着な判断や正確な手技が求められるので、安定した精神状態で臨むには、私生活が安定している必要があると思います。そのため当科では、子どもの授業参観や家族の病院への付き添いなどに関しては、休みを取りやすいように全員でカバーし合うようにしています。

そして一番大事なのが我々がフラットに、自由に発言できる環境を作ることです。外科というピラミッド型の組織と思われがちですが、そんなことはありません。全員の知識をフル活用しないと患者さんにとって最大の利益となる治療ができないので、検討会では個々の得意分野、最近学んだ知などを積極的に発言し、一医師、一人の人間として平等な立場で検討を行っています。また医師だけでなく、専門知識を持つ薬剤師や栄養士などの意見も同様に検討し、一つのチームとしてまとめていく役割が重要と考え、それを実践しているつもりです。

もちろん個々の能力は大事です。その上で他者と平等な関係でコミュニケーションを図り、医師、コメディカルの人たちの長所を理解し意見をまとめ、患者さんにとってよりよい医療を提供する。そんなチームを作り上げる外科医を育成できればと考えています。

外科主任診療科長 手術部部長

二瓶 幸栄 NIHEI KOUEI

プロフィール

- 医学博士
- 消化器外科専門医
- 日本外科学会 外科専門医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 日本腹部救急医学会 教育医 認定医
- 日本乳がん検診精度管理中央機構
マンモグラフィー読影認定医
乳がん検診超音波検査実施・判定医
- 臨床研修指導医
- 臨床研修プログラム責任者養成講習会を受講修了
- 看護師特定行為研修指導者講習会を受講修了





外科部長

須田 和敬

- ・医学博士
- ・日本外科学会 認定医 外科専門医
- ・日本消化器外科学会 指導医
- 消化器外科専門医
- 消化器がん外科治療認定医
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・日本消化管学会 胃腸科専門医
- ・便通マネージメントドクター
- ・臨床研修指導医

1996年に医師免許を取得しました。新潟大学第一外科の下部消化管班に所属し、消化管癌の治療と一般外科手術を中心に研鑽を積みました。2010年から14年間は済生会三条病院に勤務し、微力ながら県央地区の外科診療に従事してまいりました。これまで多くの方々に助けられてきました。この地で培ってきた開業医、病院勤務医の皆様とのパイプを生かし、少しでも県央の医療に恩返しできれば幸甚に存じます。よろしくお願いたします。



外科部長

田中 亮

- ・医学博士
- ・日本外科学会 専門医 指導医
- ・日本消化器外科学会 専門医 指導医
- ・日本消化器病学会 専門医
- ・内視鏡外科学会 技術認定医

消化器・一般外科の手術を中心に日々の診療に従事しています。症状にあった最善の治療法をわかりやすく説明するように心がけています。



外科部長

八木 亮磨

- ・医学博士
- ・日本外科学会 専門医
- ・日本消化器外科学会 専門医 指導医
- ・日本内視鏡外科学会 技術認定医
- ・日本大腸肛門病学会 専門医
- ・日本遺伝性腫瘍学会 専門医
- ・日本腹部救急医学会 腹部救急認定医
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・検診マンモグラフィー読影認定医
- ・臨床研修指導医

消化器・一般外科領域の手術や抗がん剤治療、特に大腸癌を中心とした大腸肛門病領域を専門に、日々の診療に従事しております。背景や病状の異なる患者さんひとりひとりに寄り添い、わかりやすい説明を心掛け、質の高い医療を提供できるよう努力していきます。



外科部長

齋藤 敬太

- ・日本外科学会 専門医
- ・日本消化器外科学会 指導医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・日本腹部救急医学会 腹部救急認定医
- ・臨床研修指導医

燕労災病院から引き続きまして、県央の外科医療に携わっていきます。消化器がんの外科治療、一般外科領域の手術を中心に日々の診療に従事しています。県央地域で外科治療を行える病院が当院のみとなったため、可能な限り当院で対応して治療を行っていきたいと思います。患者さんの外科治療を積極的に相談に乗り、ひとりひとりの病状にあった最善の治療方法をわかりやすく説明いたします。気軽に相談できるような医療を提供していきたいと思います。



外科部長

TQM部門TQM室室長

石川 卓

- ・医学博士
- ・日本外科学会 専門医 指導医
- ・日本消化器外科学会 専門医 指導医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・臨床研修指導医

胃外科や消化管間質腫瘍(GIST)の治療を中心に研鑽を積み、消化器がん、一般外科領域の手術を中心に診療に従事しています。また、新潟大学歯学総合病院の医療情報部(診療録や電子カルテシステムに関連する部署)にも勤務した経験から、済生会新潟県央基幹病院でも電子カルテシステムや医療情報の取扱いに携わっており、システム・データという視点でも患者さんに優しい病院を目指して取り組んでおります。



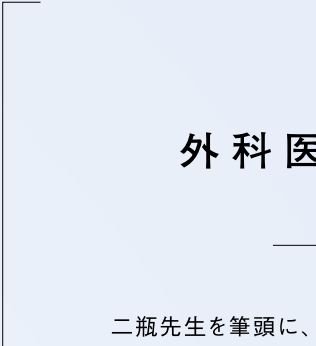
外科部長

化学療法部 部長

沢津橋 孝拓

- ・日本外科学会 専門医
- ・日本乳癌学会 乳腺認定医
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・日本腹部救急医学会 腹部救急認定医
- ・臨床研修指導医
- ・がんのリハビリテーション研修 修了

乳癌の診療を中心として、一般外科領域の手術と腹部救急疾患の診療に従事しています。当院では新潟大学と、がんセンター新潟病院と密に連携をとりながら乳癌診療を行っています。「がん」という、人生でも大きな転機となりうるタイミングで医師と患者が対面することになります。当院では治療ガイドラインと最新のエビデンスを基に治療戦略を構築し、患者さんへ還元できるよう努めてまいります。そして同時に、患者さんひとりひとりが自分らしく毎日を過ごせるように、医療スタッフ皆で支えていける診療を目指していきます。



外科部長

中塚 英樹

- ・医学博士
- ・日本外科学会 専門医 指導医
- ・日本消化器外科学会 専門医 指導医
- ・がん治療認定医
- ・臨床研修指導医
- ・マンモグラフィー読影認定医

2008年より燕労災病院外科で外科診療を行ってきました。消化器癌の手術、抗がん剤治療から、緊急腹部外傷の手術も手掛けています。これらは主に治すための治療ですが、肉体的、精神的苦痛を軽減する緩和ケアの治療も早期から必要と考えて、緩和ケア外来、在宅医療、在宅看取りも行っています。最近では、国境なき医師団外科医として海外の途上国で、手術や現地スタッフに教育もしています。病院以外では音楽を聞き、本を読み、マラソンをしています。





登録医のご紹介



水澤内科医院（燕市）

〈院長〉水澤 彰郎 様 燕市医師会会長

まず、御クリニックについて教えてください。

燕市で内科医院を開業しております。私は昭和60年に聖マリアンナ医大を卒業後、新潟大学旧第二内科、呼吸器班で研修、研究生活をさせて頂いた後、西新潟中央病院、長岡赤十字病院で勤務、平成8年、生まれ故郷でもある燕市に縁があり開業させて頂きました。主に呼吸器科を専門に内科全般を診させて頂いております。感染症外来やワクチン接種などにも力を入れております。

どのような患者さんが、どういった症状で受診されることが多いですか？

仲町という旧燕市の商店街の中にあり、概ね一般内科としてご近所のご高齢の方々と花粉症などのアレルギー疾患、長引く咳嗽でお困りの方などが受診されています。理学療法機器も少し揃えており、軽度の関節痛や肩こりにお悩みの方にもご利用頂いております。

日々の生活の中で、気を付けた方がよい症状はありますか？

コロナに限らず、ウイルス感染症の後に咳が止まらない感染後咳症候群などが問題となっており、この中かなりの割合で咳喘息という気管支喘息の一手前の方がおられます。花粉症などをお持ちの方は特に合併する事が多く、呼吸機能検査などからしっかりと診断をすべき疾患であると思います。診断がつけば吸入療法などで速やかに改善します。また燕の人はご当地ラーメンの影響？か脂質異常症、糖尿病の割合が高く、市の健診等セルフチェックは是非して頂きたいです。

日々の診療で心がけていること、大切にしていることはありますか？

「治して差し上げる」のではなく「治って頂く」様に来院された方々に寄り添い、心身の重

荷を解いて頂けるようスタッフ一同心がけております。疾患が認められないにもかかわらず症状にお悩みの方を多くお見受けします。受付、診療、会計と続く中で、医師一人ではなくチームとして少しずつでも表情が和らいで頂ける様目指しております。

院内のつくり／設備でこだわっていることはありますか？

感染症の患者様に対応するため、別個に感染症専門診察室を用意しております。院内には各所にウイルス除去仕様の空気清浄機を設置しております。また当院は主に院内処方を行っているため、来院された方のお手間は少し省けているのではないかと思います。インターネット予約も受け付けております。地域にとつてどんなクリニックを目指していますか？

開業から30年近くなりますが、仕事以外にも商店街や町内の方々と街の行事などを通して「町医者」として気軽に相談頂けるよう地域の方々と繋がりも大切にしております。最近では専門性を持った診療所も増えましたので、病診連携だけでなく診療所同士の繋がりも大切に、医師会として街全体の大きな一般外来のようになれば理想です。

最後に、済生会新潟県央基幹病院との連携・協力について、意気込みをお教えてください。

救急医療、三次医療を担う基幹病院の設立は我々の悲願でありました。「断らない医療」を掲げたその主旨に甘えることなく一次医療として大きく高い壁をもつて臨み、バックアップして頂く二次医療への負担を減らすよう心がけていく必要があると思います。むやみに基幹病院へのアクセスを求めない、地域住民と共に「基幹病院を守る」といった意識こそが大切だと思っております。

水澤内科医院【内科・呼吸器科・アレルギー科】

〒959-1258 燕市仲町6-13

診療時間／午前8:30～12:30 午後15:00～18:00

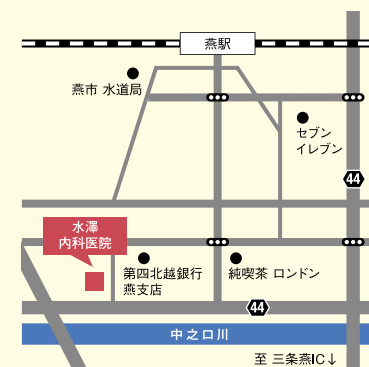
TEL／0256-66-5522

アクセス／燕駅より徒歩10分、三条燕インターより車で5分

駐車場／医院前5台・医院裏（協栄信用組合仲町支店様共有）20台

休診日／土曜の午後・木曜・日曜・祝日

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30～12:30	●	●	●		●	●	
午後	15:00～18:00	●	●	●		●		





社会福祉法人

恩賜
財団

済生会新潟県央基幹病院

〒955-0091 新潟県三条市上須頃5001番地1

TEL.0256-47-4700 FAX.0256-33-8808

<https://www.kenoh.saiseikai.or.jp/>

病院のサイトには
右記QRより
アクセスしてください

